

2024 年 10 月 5 日 (土)

栗駒山 (1627 m)

～Report by 高橋(雄)～

日本一の紅葉ともいわれる栗駒山。今年は9月に入っても猛暑が続き、紅葉も例年より2週間は遅れるのではないかと思います、当初10月19日(土)で計画した。しかし、9月の終わりから紅葉が一気に進んだようで、ヤマレコのリポートでは10月2日で山頂が見ごろとなっていた。となると栗駒山の紅葉の名所、神の絨毯辺りが見ごろとなるのはその2～3日後の5日ぐらいか？

しかし私は10月3・4日で吉松さん企画の那須、三斗小屋温泉泊に参加を申し込んでいた。10月5日に栗駒山に行くのはまず不可能・・・と思ってあきらめていた。

そして10月3・4日で那須、三斗小屋温泉泊に参加した。

那須岳の天気予報では、3日は曇り、4日は雨、風速24mで、暴風雨にぐじょぐじょにされてへとへとになって帰ってくることを覚悟していた。

しかし、奇跡的にそうはならなかった。4日はガスって視界は不良、ときおり風速10mぐらいの強風にさらされることはあったが、予想していたような猛烈な暴風雨とはならず、雨具もつけずに無事下山できた。体力も消耗しきってはいない。

これでは5日に栗駒山へ行くこともできそうだと考えがむくむくと頭に浮かんできた。

一旦東京に戻って翌日出直すとめんどくさいし、交通費が嵩む。そこで東京には戻らずに、那須塩原から直接栗駒へ向かうことにした。

那須のメンバーの堀さん、吉松さんも誘ったが、都合つかず、結局私一人だけで決行となった。

東北新幹線的那須塩原駅でくりこま高原へ延伸の乗車変更。前泊することにしたが、くりこま高原駅付近には適当な宿が見つからず、一駅手前の古川に数件あった駅前のビジネスホテルをネットで予約。

一泊朝食付きで5900円。ホテル内のコインランドリーで汚れものを洗濯するなどして、就寝。

翌5日朝、古川から8:17発の新幹線で一駅、9分乗車。8:26くりこま高原駅に着いた。

【 10月5日(土) 】



栗駒山の登山口の「いわかがみ平」に行くバス、宮城交通の「紅葉号」は9:25発。その時刻より1時間ほど早い、なんと、すでにバス停は長蛇の列！300人前後は並んでいたようだが、その後ろに並んだ。8台待機していたバスに9:10ごろから順次乗り込み開始。私は最後の8台目で、なんとか座ることができた。新幹線は9:12着のもあるが、それで来た50人ぐらいの人は座れず、8台に分散し立ったまま出発。



10:53 いわかがみ平 (1130m) 着。
結局400人ぐらいの登山者が登り始めた。

今回の GPS 軌跡

 GPS 02:58	 距離 6.3 km	 登り 452 m	 下り 453 m
---	---	--	--

[地図表示設定](#)[地図出力/その他の機能](#)[アクセスを調べる](#) [my出発地登録](#)

栗駒山に来るたびにスタート時に写真を撮る、レストハウス前のナナカマド。今回は赤く色づいている。この分では神の絨毯も見ごろではないかと期待に胸が膨らむ。ザックには昨日までの那須の荷物が入っていて重いので、レストハウスで預かってもらいたかったが、断られた。しょうがないので、少しでも荷物を軽くすべく、スタート前に昼食のパンを食べ、お茶をお腹に納めた。



11:18

いわかがみ平のレストハウスから出発。
最初は石畳の登山道。

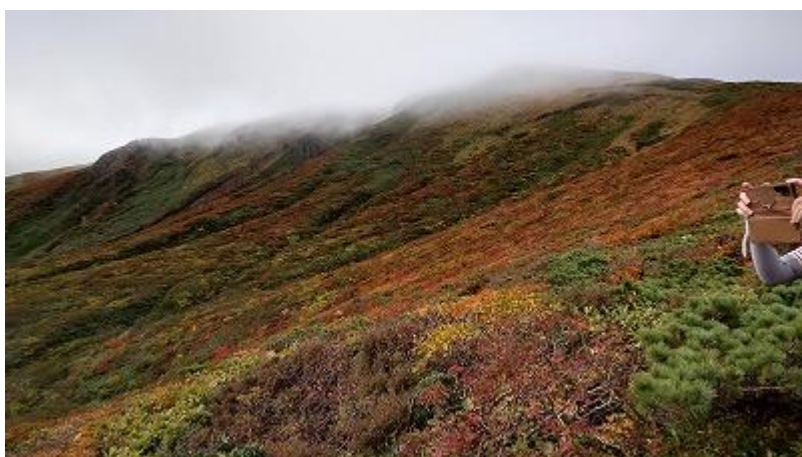
周りが赤くなってきたハウチワカエデ。



登るにつれて葉の中まで赤くなってくる。



←ドウダンツツジも登るにつれ紅葉が鮮やかになっていく。ナナカマド↓は葉が落ちて赤い実だけになっていた。



12:10

スタートから 2km の中央コース展望台。
(1410m)

石畳の終点。ここから山道となる。

見晴らしがよくなり、神の絨毯と山頂を見渡せるが、山頂はガスっている。



予想通り、神の絨毯は見ごろに入っていた。

周りの人たちから感動の声があがる。
色づきも悪くはない。
これで晴れて青空に鮮やかに映えていれば
申し分ない。

しかし、ピークにはまだちょっと早いよう
だ。



ミネカエデの紅葉



黄葉。



←ドウダンツツジや
↓ムシカリ（オオカメノキ）の紅葉



神の絨毯の中を写真を撮りながら登って行く。

上空は曇っているが、わずかに日が差してくる時があった。その時の今回のベストショット。↓



紅葉、黄葉と笹の緑が競演



13:11

中央・東栗駒コース合流地点。(1545m)
 神の絨毯の上端。ここから山頂までは草紅葉。山頂(1627m)まであと一息だが、紅葉は終わっているだろうし、ザックが重いので、ここまでにして引き返すことにした。



今回は紅葉がメインで、花には目が向かなかったが、唯一ウメバチソウを見つけてパチリ。



14:16

いわかがみ平に戻った。
 イワナの塩焼きと生ビールでしばしまったり。

15:05 いわかがみ平発のバスでくりこま高原駅に戻った。

行きのバスは8台だったが、帰りのバスは9台に増発されていたので、みんな座って帰れた。

くりこま高原 16:58 発の東北新幹線、「はやぶさ」で帰京。

10月3,4日の那須に参加したので、5日の栗駒山の紅葉は見れないか?とあきらめていたが、幸運にも那須から直行して、栗駒山の紅葉の見ごろを写真に収めることができた。

しかし、紅葉のピークにはちょっと早く、空も曇っていたので、85点といったところ。

なんとか快晴の青空に映える100点の紅葉を見たいものだ・・・

2024 年 10 月 11 日 (金)

栗駒山 (1627 m)

～Report by 高橋(雄)～

10 月 5 日の栗駒山の紅葉は見ごろに入っていて、色づきも悪くはなかったものの、ピークにはまだちょっと早く、天気もほとんどが曇りでイマイチ満足のいく写真は撮れなかった。

あと少しのところなので、今シーズンでもう 1 回チャンスはないか？と未練がましく天気予報を見ていたら、10 月 11 日 (金) が栗駒山は晴れで、「てんきとくらす」の登山指数も「A」だった。

でも新幹線が満席かもしれないし、土日ではないのでバスは運行しておらず、レンタカーを使うしかないが、今からではレンタカーも予約できないのではないか？と思ったが、ダメもとであたってみたら、なんと、両方ともすんなりと予約できてしまった。

というわけで、今年も再チャレンジした。が、しかし・・・



9:12

東北新幹線「はやぶさ」がくりこま高原駅に着く直前に撮った栗駒山。

空は天気予報通り快晴。

しかし栗駒山の頂上には、なぜか雲がかかっている。

あの雲は登るまでにはなくなるはずだ。

・・・と思った。



くりこま高原駅でレンタカーを借り、栗駒山へ。

いわかがみ平の手前のマイカー規制の駐車場でシャトルバスに乗り換えて、

10:49

いわかがみ平着。

5 日の時は 400 人いた登山者も、今日はまばら。

晴れることを期待していたが、上空は曇ったまま。



レストハウスの周りの紅葉はまさに見ごろに入っていた。



11:20 スタート。
 コースは5日と同じ中央コース。
 最初の2kmの石畳の登山道。
 5日の時よりも紅葉が進み、見ごろになっていた。
 晴れへの期待とは逆に、登るにつれガスが多くなってきた。



12:10 中央コース展望台。
 山頂や、その手前に神の絨毯が見渡せる所だが、ガスが濃く、視界不良。
 ガスは薄れるどころか、小雨が降りだしてきてしまった。
 ザックにカバーをかけ、傘をさして登る。
 紅葉はピークか、ちょっと過ぎているかといった感じだが、小雨で傘をさしているので、カメラを構えることができず、写真を撮れない。



5日に来た時は写真を撮りながら登ったので時間がかかり、ザックも那須の荷物が入っていて重かったので山頂手前で引き返したが、今回は途中で写真を撮らず、ザックも重くないので、山頂まで登った。

12:46 山頂着。
 小雨は止んだ。



山頂付近の紅葉はだいぶ終わっていた。



しかし、所々まだ残っていたものもあった。



山頂の祠は新しくなっていた。
 なんとか晴れますように・・・と祈った。



13:05
 下山開始。
 祠への祈りもむなしく、晴れる気配なく、
 ガスが濃くなって、下の方の神の絨毯は全
 く見えない。



雨は止んでいるので傘はさしておらず、カ
 メラを構えて写真をとることができた。
 真っ赤なミネカエデ。



真っ赤なドウダンツツジと黄色のミネカエデ。



一瞬、ガスが薄れた。

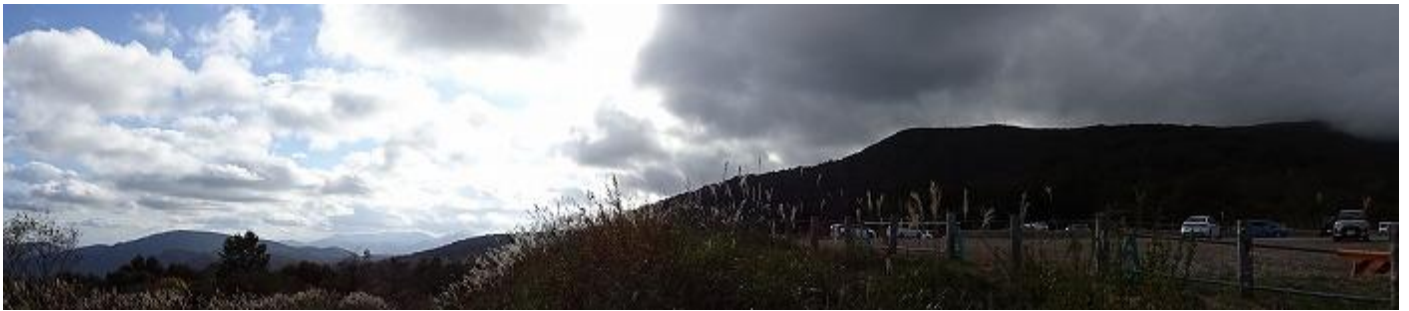
本日のベストショット。熟した紅葉。これが快晴の青空の下だったら・・・返す返すも残念。





下山し、14:54 レンタカーを置いてある駐車場に戻った。

左側の空は晴れているのに、右側の栗駒山には雲がまとわりついているのがわかる。全くついてない。



というわけで、今回も栗駒山の紅葉写真で満足のいくものは撮れなかった。

過去を振り返ってみると、私が栗駒山に登ったのは今回で12回目。

紅葉のピークを求めて、2020年・2021年・2022年・今年、の4年は、年に2回も登っている。

だいぶ金をかけているが元を取るに至っていない。

でも来年もチャレンジしよう。。。。。